【試合結果】

男子　　第１試合							
日時	平成29年4月15日（土）				9:00	～	
会場	千歳市スポーツセンター　Aコート						
結果	○					●	
	鳥屋野					北見北	
	新潟					道3位	
	73	16	－	8		45	
		15	－	6			
		22	－	16			
		20	－	15			
			OT				

第10回北海道カップ中学生バスケットボール大会

【ボックススコア】

鳥屋野　新潟								
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	吉井　諒	／	0	0	0	0	2	0
5	小川　敦也	×	15	1	6	0	3	1
6	成澤　頼	×	20	0	10	0	14	3
7	品田　真吾	×	9	1	3	0	7	1
8	山﨑　悠真	／	3	1	0	0	0	0
9	平岡　陸太朗	／	8	0	4	0	0	0
10	長野　幹大	／	0	0	0	0	1	0
11	畑山　錬	DNP						
12	塚野　真生	DNP						
13	小澤　太智	DNP						
14	五十嵐　奏人	DNP						
15	鶴間　大翔	DNP						
16	加藤　健人	×	6	0	3	0	1	1
17	岩瀬　太樹	DNP						
18	島倉　欧佑	×	12	0	6	0	9	1
HC	堀　里也							
合計			73	3	32	0	37	7

北見北　道3位								
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	宮村　詩恩	×	4	0	2	0	3	0
5	吉野　涼	×	9	1	3	0	0	1
6	山田　陽大	×	5	1	1	0	3	2
7	元村　峻太	×	2	0	1	0	1	0
8	越田　大翔	×	21	1	7	4	8	4
9	鴨田　悠作	／	2	0	1	0	3	2
10	川辺　柊	DNP						
11	浜口　大空	／	2	0	1	0	0	0
12	細川　優斗	DNP						
13	鎌田　隆聖	DNP						
14	藤井　琉空	DNP						
15	山腰　巧斗	DNP						
16	東海林　介稔	DNP						
17	加賀　遼典	DNP						
18	加藤　颯	DNP						
HC	大浦　幸一							
合計			45	3	16	4	18	9

出場　×：スターター　／：途中出場　DNP：出場なし

得点　3P：3ポイントシュート　2P：2ポイントシュート　FT：フリースロー

【戦　評】

北海道カップの初戦は昨年度福井全中ベスト8まで勝ち上がった新潟県新潟市立鳥屋野中学校と北海道新人戦3位の北見市立北見北中学校の顔合わせとなった。全ポジションバランスよく戦力の整う鳥屋野中に対し、北海道選抜でも中心選手として活躍した⑧越田選手を中心に高さを生かしたバスケットを展開する北見北。非常に興味深い初戦のカードである。

1Q：鳥屋野中⑤、⑥、⑦、⑯、⑱　北見北④、⑤、⑥、⑦、⑧がスタートでティップオフ。開始直後、鳥屋野中が鮮やかな速攻から⑯がレイアップを決める。立ち上がりからタフショットを誘発する鳥屋野中の激しいディフェンス。それに対し、⑧越田にボールを集め、インサイド・アウトサイドに幅広くボールを展開しながらシュートチャンスを作る北見北。双方譲らぬ展開を破ったのは鳥屋野中。持ち味のディフェンスから速攻、⑤、⑦の巧みなドライブから合わせのパスで連続得点。残り1分、14－8となったところで北見北がタイムアウト。タイムアウトあけも引き続き厳しいディフェンスで主導権を握ったまま16－8で1Q終了。

2Q：1Q同様ハーフコートマンツーマンでスタート。鳥屋野中はハイピックやハンドオフでディフェンスに的を絞らせない。そんな中、鳥屋野⑤が鋭いドライブやジャンプシュートで加点し22－8とリード広げる。それに対し北見北は⑧越田の個人技で打開しようとするも、なかなか流れをつかめない。流れを変えようと残り4分20秒で北見北が前半2回目のタイムアウト。タイムアウト明け、しつこいオフェンスリバウンドから北見北⑨が得点する。しかし、連続得点をさせない鳥屋野中のディフェンスに苦しみ、31－14で前半が終了。

3Q：北見北⑧のドライブから巧みなシュートで後半の口火を切る。続けて北見北⑤の外角シュート、⑧のフリースローとオフェンスから流れをつかもうとする。対する鳥屋野中はさらに厳しいディフェンスで相手のミスを誘発。そこからのアーリーオフェンスや⑦のドライブ、⑥のオフェンスリバウンドからのシュートで応戦。残り4分、41－21と20点差がついたところで鳥屋野中がタイムアウト。引き続き⑤、⑦のアウトサイドを中心に良いリズムでシュートする鳥屋野中。北見北も⑧の個人技で打開を図ろうとするも徐々に点差が開き、53－30で3Q終了。

4Q：開始直後からミスが目立ち、持ち味を発揮できない北見北。対照的に、スピーディーな速攻から効率よく加点する鳥屋野中。さらに残り3分、鳥屋野中⑤の3Pが決まり、30点差がついたところで、鳥屋野中はベンチメンバーをコートに送り込む。それでもディフェンスの激しさは変わらず、チーム力の高さを見せつける。最後は鳥屋野中⑱が力強いドライブで加点し75－43で試合終了。

終始ディフェンスから流れをつかみ、洗練されたチームオフェンスと卓越した個人スキルで上回った鳥屋野中が勝利した。

記 録